

平成30年度事業報告(2018.4~2019.3)

1. 総会<法人会計>

30.06.13 第8回通常総会において、平成29年度事業報告及び収支決算(監査報告含)、平成30年度事業計画及び収支予算、定款の一部変更、理事・監事選任を提案、審議の結果各々提案通り可決。引き続き、講演会を開催。

「横長フレームにおける枠入れ時のレンズ締め付けによる影響」

講師：日本眼鏡技術専門学校 卒業生 春木 大典 氏

「低加入度眼鏡装用でも調節負荷の軽減」

講師：ワールドオプティカルカレッジ 卒業生 奥本 達成 氏

2. 理事会<法人会計>

30.05.09 第8回通常総会の議案について、①平成29年度事業報告及び収支決算(監査報告含)、②定款変更の件、③理事・監事選任の件、④講師料規程制定の件について審議の結果承認。報告事項として、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、会員数及び認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程について、各々報告。

30.06.13 第8回通常総会で選任された理事の互選により、会長として木方伸一郎氏(兼国際部長)を選任。また副会長として金井昭雄氏、平岩幸一氏(兼財務部長)、亀井正美氏(兼会員組織部長)、福田吉美氏(兼総務部長)を選任。また教育部長(内田豪氏)、広報部長(杉本佳菜子氏)、法制部長(相澤博彦氏)、社会福祉部長(仲西隆義)を選任。さらに津田節哉前会長に顧問(眼鏡技術者国家資格推進機構に対する当協会の代表)を委嘱することを決定した。

30.10.31 審議事項として①平成30年度上期の事業報告並びに上期決算報告、②代議員選挙実施の件、③顧問・相談役委嘱及び副部長認計の件について、各々審議の結果承認。報告事項として①組織活性化特別委員会報告、②眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動きについて、③アワード運営委員会報告、④日本眼鏡士連盟の活動と収支状況について、④会員数並びに認定眼鏡士登録者数、今後の日程、について各々報告。

31.03.07 審議事項として、①2019年度事業計画並びに収支予算について、②2019年度生涯教育の実施について、③2019年度広報部活動について、各々審議の結果承認。報告事項として、①2019/2020年度支部代議員選挙結果、②オプティカルアワードについて、③眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、④日本眼鏡士連盟の活動について、⑤会員数並びに認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程、について各々報告。

3. 正副会長・部長会議<法人会計>

30.05.09 理事会に提案する第8回通常総会の議題等について協議。

30.06.13 第8回通常総会並びに講演会の運営について協議。

30.10.31 理事会に提案する平成30年度上期の事業報告並びに収支決算を中心とする議題について協議。

31.03.07 理事会に提案する 2019 年度事業計画並びに収支予算を中心とする議題について協議。

4. 選挙管理委員会<法人会計>

- 30.05.10 第 1 回選挙管理委員会（平成 30・31 年度理事・監事候補者氏名、選挙日程の確認）
- 30.06.08 第 2 回選挙管理委員会（理事・監事選挙 投票用紙の開票）
- 30.11.01 第 3 回選挙管理委員会（2019/2020 年度代議員選挙公示内容の確認）
- 31.01.09 第 4 回選挙管理委員会（代議員及び補欠の代議員の立候補者氏名の確認、定数に満たなかった支部に対する「支部代議員推薦依頼状」を確認）
- 31.01.30 第 5 回選挙管理委員会（支部から推薦された代議員・補欠の代議員名簿により、代議員 110 名、補欠の代議員 45 名を決定。茨城県支部と広島県支部は補欠空席。）
- 31.02.12 第 6 回選挙管理委員会（山口県支部から、健康問題で代議員候補者を変更したいとの要望があり、確認。）
- 31.02.08 第 7 回選挙管理委員会（兵庫県支部から、支部推薦の手続きに不備があったので変更したいとの要望があり、確認。代議員 110 名、補欠の代議員 45 名を確定。）

5. 教育関連事業<公 1、公 2、公 4>

- 30.06.01 会員及び会員外認定眼鏡士に対し、教育特集号送付
- 30.07.03 生涯教育、実技講習会開催
～11.22
- 30.08.22 SS 級認定眼鏡士学科試験実施
- 30.08.27 SS 級認定眼鏡士実技試験実施
～30
- 30.09.26 SS 級認定眼鏡士試験合否判定会議
- 30.10.15 SS 級認定眼鏡士試験結果を発送
- 30.12.12 講師会を開催（教育全般の実績報告と反省点、次年度テーマの検討）
- 31.02.25 輪読会を実施（次年度生涯教育テキスト原稿を輪読し、意見交換）

6. 組織強化関連事業

6-1. 認定眼鏡士新規登録証、更新登録証の発送。<公 1>

- 30.4～31.3 認定眼鏡士新規登録証、更新登録証の発送

6-2. 支部助成金、ブロック会議<法人会計>

- 30.05.25 各支部に対して支部助成金を送金
- 30.09.04 東北ブロック会議：於仙台市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、教育事業について意見交換。各支部活動等について報告。）
- 30.09.12 中国ブロック会議：於岡山市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、教育事業、PR 活動について意見交換。各支部活動報告について報告。）
- 30.10.03 東京・関東ブロック会議：於東京都（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。各支部活動等について報告。）

- 30.10.11 九州ブロック会議：於福岡市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。各支部活動等について報告。）
- 30.11.08 東海ブロック会議：於岐阜市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。上期決算を報告。各支部活動等について報告。）
- 30.11.14 北陸ブロック会議：於上越市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。上期決算を報告。各支部活動等について報告。）
- 30.11.15 近畿ブロック会議：於京都市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。上期決算を報告。各支部活動等について報告。）
- 31.03.14 四国ブロック会議：於高松市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。次年度予算を報告。各支部活動等について報告。）
- 31.03.27 北海道ブロック会議：於札幌市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。次年度予算を報告各支部活動等について報告。）

6－3．組織活性化特別委員会＜法人会計＞

- 30.05.09 第2 1回組織活性化特別委員会を開催。（理事会当日、於大阪）
組織を活性化するために出来る事を議論。
- 30.09.13 第2 2回組織活性化特別委員会を開催。（於名古屋）
組織活性化特別委員会のあり方について議論。
- 30.10.31 第2 3回組織活性化特別委員会を開催。（理事会当日。於大阪）
平成24年10月以降の活動で一定の成果を見たので、組織活性化特別委員会を発展的解消とすることを決定。

7．助成・社会福祉関連事業＜公5＞

- 30.04.05 第1回オプティカルアワード運営委員会開催
- 30.05.25 日本失明予防協会の年会費納入
- 30.06.25 第2回オプティカルアワード運営委員会開催
- 30.08.01 厚生労働省に対して平成30年度「目の愛護デー」の協賛同意書提出
- 30.08.01 各支部長に対し、平成30年度「目の愛護デー」協賛依頼書送付
- 30.08.08 オプティカルアワードに関して内閣府と面談
- 30.08.29 第3回オプティカルアワード運営委員会開催
- 30.09.25 第4回オプティカルアワード運営委員会開催
- 31.02.25 （公財）日本失明予防協会に対し、失明予防事業基金として寄付

8．広報活動関連事業＜公4＞

- 30.05.23 HPに、J O Aニュース（No154号）をアップ
- 30.06.20 HPのトピックスに「関真司国際副部長が優秀オプトメトリストを受賞」をアップ
- 30.06.20 HPのトピックスに「金井副会長が名誉博士号を授与される」をアップ
- 30.07.17 HPのトピックスに「第8回通常総会」をアップ
- 30.10.23 HPのトピックスに「平岩副会長が薬事功労厚生労働大臣表彰」をアップ
- 30.10.26 HPのトピックスに「木方新会長巻頭言：誇りのもてる職業に」をアップ

30.11.19 HP のトピックスに「金井副会長がブライアン・ホールデン ヒューマニタリアン アワード受賞」をアップ

9. 普及啓蒙関連事業<公4>

30.06.01 リーフレット2種類（私のメガネは認定眼鏡士に作ってもらいました／大切なメガネを長持ちさせるメガネのお手入れ）を認定眼鏡士に配布

30.11.01 ミニカレンダーを認定眼鏡士に配布

10. 海外交流関連事業<公3>

30.05.25 ISO国内委員会年会費納入

31.01.15 WCO（世界オプトメトリー会議）年会費納入

11. 調査研究関連事業<公3>

30.04.24 眼鏡技術者国家資格推進機構第15回幹事会出席

30.06.01 認定眼鏡士に対し「眼鏡技術者国家資格推進機構ニュース第13号」を送付

30.06.26 眼鏡技術者国家資格推進機構第21回正副代表幹事会出席

30.09.07 眼鏡技術者国家資格推進機構第22回正副代表幹事会出席

30.11.20 眼鏡技術者国家資格推進機構第16回幹事会、第7回通常総会出席

31.02.19 眼鏡技術者国家資格推進機構第23回正副代表幹事会出席

12. 関係団体関連事業<法人会計>

30.04.24 日本眼鏡関連団体協議会 第85回幹事会出席

30.07.27 日本眼鏡関連団体協議会 第86回幹事会出席

30.10.04 日本眼鏡関連団体協議会 第87回幹事会出席

30.11.20 日本眼鏡関連団体協議会 第88回幹事会、第23回通常総会出席

13. 消費者対策事業<公4>

消費生活センターを通じて、技術的内容の問い合わせに回答している。
当年度上期の対応は0件。

14. 管理部門（総務部、財務部）<法人会計>

30.04～31.03 会員管理（入退会、支部異動、住所・勤務先変更等）

30.04～31.03 会費管理、収入・支出の管理（財務部）

30.04～31.03 認定眼鏡士管理（新規登録・更新登録）

30.04.02 会員資格喪失者に通知書送付同時に当該支部長に通知

30.04.18 監査会（平成29年度事業報告及び収支決算について）

30.05.23 代議員に対し、第8回通常総会の案内を送付

30.06.27 内閣府に対し、平成29年度事業報告・収支決算書等を提出

30.07.01 H27年更新・受講回数不足者に認定眼鏡士登録停止のお知らせを送付

30.10.01 平成30年度会費未納者に対して督促状送付

- 30.10.17 監査会（平成30年度上期の事業報告並びに上期決算報告）
31.01.16 平成29・30年度の2年間の会費未納者に督促状送付
31.03.26 内閣府に対し2019年度事業計画、収支予算書を提出

15. 会 員 数

①前期末会員数（平成30年3月31日）	5,746名
②当期新入会員（平成30.4.1～31.3.31）	166名
③当期資格喪失者数（平成30.4.1）	246名
④当期退会者数（平成30.4.1～31.3.31）	119名
⑤当期復活者数（平成30.4.1～31.3.31）	58名
⑥当期末会員数（平成31年3月31日）	5,605名

（注記）事業報告各項目の末尾の公益事業区分の解説。

<公1：公益事業1>＝資格付与に関する事業

<公2：公益事業2>＝講座、セミナー、育成に関連する事業

<公3：公益事業3>＝調査、資料収集に関連する事業

<公4：公益事業4>＝キャンペーンに関連する事業

<公5：公益事業5>＝助成に関連する事業

<法人会計>＝組織（日本眼鏡技術者協会）を維持するための活動

以 上